

# 化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
住 所 東京都中央区築地 6 - 19 - 20  
担当部署 品質保証部  
電話番号 03 - 3248 - 2208  
FAX 番号 03 - 3248 - 2243  
緊急連絡先 同上

作 成 2008 年 7 月 4 日

MSDS No. 415261

製品名 ヒストファイン ファーストレッドⅡ基質キット

製品コード	製品名	成分	単一製品、混合物の区別
415261	ファーストレッドⅡ基質キット		塩類の混合物

適用法令：特に無し

成分の一覧及びその他の適用法令

番号		その他の適用法令
1.	Fast Red (1.0%以下)	なし。MSDS 対象外
2.	塩化マグネシウム (0.1%以下)	なし。MSDS 対象外

火災時の措置 消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。  
消火剤 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

漏洩時の措置 ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。  
・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。  
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

MSDS No. 415261

# 1. Fast Red

---

## 物質の特性

単一製品、混合物の区別	：塩類	
化学名	Fast Red（化学名は非開示）	
成分及び含有量	1.0%未満	
化学式／分子量	-----	
化審法公示番号	-----	
CAS No.	-----	
国連分類	-----	国連番号 -----

---

## 危険・有害性の分類

分類の名称	-----
危険性	通常状態では危険性はない。
有害性	眼、鼻、のど、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす可能性がある。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまいなどを引き起こす可能性がある。
環境影響	-----

---

## 応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

---

## 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高温物、スパークを避け、保管する。</li><li>・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。</li><li>・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。</li><li>・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</li><li>・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。</li></ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。</li><li>・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。</li><li>・ 容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。</li></ul>

---

## 暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所

---

	排気装置を設置する。
保護具	・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。 通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	-----
蒸気比重	-----
沸点	-----
蒸気圧	-----
融点	-----
比重	-----
溶解性	-----

危険性情報	安定性、反応性	-----
-------	---------	-------

有害性情報	急性毒性	-----
	慢性毒性	-----
	変異原性	-----
	がん原性	-----
	刺激性	-----

環境影響情報	-----
--------	-------

廃棄上の注意	焼却炉で少量ずつ焼却廃棄する。または、廃棄物業者へ委託して処理する。
--------	------------------------------------

備考	研究用試薬としてのみ使用すること。
----	-------------------

## 2. 塩化マグネシウム

物質の特性

単一製品、混合物の区別	：塩類		
化学名	塩化マグネシウム		
成分及び含有量	0.1%未満		
化学式／分子量	MgCl <sub>2</sub>		
化審法公示番号	1-233		
CAS No.	7786-30-3		
国連分類	5.1	国連番号	3407

危険・有害性の分類

分類の名称	-----
危険性	通常状態では危険性はない。
有害性	眼、鼻、のど、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす可能性がある。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまいなどを引き起こす可能性がある。
環境影響	-----

応急措置	眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
------	---------	------------------------------------

皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高温物、スパークを避け、保管する。</li> <li>・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。</li> <li>・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。</li> <li>・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</li> <li>・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。</li> <li>・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。</li> <li>・ 容器は直射日光を避け、2—8℃で保存する。</li> </ul>

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。</li> <li>・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。</li> </ul>
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	-----
蒸気比重	-----
沸点	-----
蒸気圧	-----
融点	-----
比重	-----
溶解性	-----

危険性情報

安定性、反応性	-----
---------	-------

有害性情報

急性毒性	-----
慢性毒性	-----
変異原性	-----
がん原性	-----
刺激性	-----

環境影響情報

-----

MSDS No. 415261

---

廃棄上の注意 焼却炉で少量ずつ焼却廃棄する。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

---

備考 研究用試薬としてのみ使用すること。

---

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。